

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称（製品名）	ダイアスタイル
供給者の会社名	ニプロ株式会社
住所	大阪府摂津市千里丘新町3番26号
電話番号	0120-226-410
ファックス番号	050-3730-8096
電子メールアドレス	nipro-web@nipro.co.jp
緊急連絡電話番号	0120-226-410
整理番号	1-16-0800-7
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	透析用機器の配管洗浄剤
使用上の制限	推奨用途以外には使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	酸性性液体	区分 2
健康に対する有害性	急性毒性（吸入）	区分 3
	皮膚腐食性／刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分 2
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（血液、呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（肝臓、呼吸器）
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3
GHSラベル要素		
絵表示（ピクトグラム）		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報		
H272	火災助長のおそれ：酸性性物質。	
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。	
H318	重篤な眼の損傷。	
H331	吸入すると有毒。	
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い。	
H370	臓器（血液、呼吸器系）の障害。	
H373	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓、呼吸器）の障害のおそれ。	
H401	水生生物に毒性。	
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害。	
注意書き		
安全対策		
P201	使用前に取扱説明書入手すること。	
P202	全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。	
P210	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。	
P220	衣類及び可燃物から遠ざけること。	
P260	ミスト／蒸気を吸入しないこと。	
P264	取扱い後は手／顔をよく洗うこと。	
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。	
P271	屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。	
P273	環境への放出を避けること。	
P280	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。	
応急措置		
P308 + P310	ばく露又はばく露の懸念がある場合：直ちに医師に連絡すること。	
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。	
P303 + P361 + P353	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。	
P363	汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。	
P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。	
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。	
P311	医師に連絡すること。	
P370 + P378	火災の場合：適切な消化剤を使用して消火すること。	
保管		
P403	換気の良い場所で保管すること。	
P405	施錠して保管すること。	
廃棄		
P501	内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。	
GHS 分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性	密閉系で不純物が混入すると、過酸化水素の分解で発生する酸素ガスで容器が破裂する危険性がある。	
その他の情報	上記取扱説明書は本SDSとする。	
重要な徴候及び想定される非常事態の概要		
重要な徴候	直接目に接触すると一時的に物理的刺激を起こすことがある。	

3. 組成及び成分情報					
化学物質・混合物の区別		混合物			
		官報公示整理番号			
	成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
	過酸化水素	7722-84-1	(1)-419	公表	8
	過酢酸	79-21-0	(2)-689	公表	6
	酢酸	64-19-7	(2)-688	公表	32
	水	7732-18-5			54
4. 応急措置					
吸入した場合		空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。			
皮膚に付着した場合		直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を流水／シャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。			
眼に入った場合		水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合は取り外すこと。 その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。			
飲み込んだ場合		口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。多量の水又はミルクを飲ませる。			
応急措置をする者の保護に必要な注意事項		ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。			
5. 火災時の措置					
適切な消火剤		一般火災の場合は消火剤として水を用いるが、大量の有機溶剤や油類が混在する場合は、 泡、粉末あるいは二酸化炭素等の消火剤を使用する。			
使ってはならない消火剤		特になし。			
火災時の特有の危険有害性		過酢酸、過酸化水素の分解により発生する酸素ガスは、周囲の可燃物の燃焼を助長する可能性がある。			
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		消火作業は風上から行い、消火を行う者は保護具を着用する。保護具を着用し、風上から作業する。 製品の蒸気やミストを吸入する可能性がある場合、空気呼吸器等の呼吸用保護具を着用する。 注水に当たっては、安全な距離を確保し、遮蔽物を利用する。また放水銃などを利用して無人化を図る。			
特有の消火方法		周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は容器及び周辺に散水し冷却する。			
6. 漏出時の措置					
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		流出／漏洩箇所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させること。作業の際には必ず保護具を着用する。			
環境に対する注意事項		環境への放出を避けること。			
封じ込め及び浄化の方法及び機材		多量の漏出： 少量の漏出：漏出液は大量の水で充分希釈して洗い流す。安全な場所に導き、濃厚な液が河川などに 流れ込まないようにしてから、自然分解させ大量の水で充分希釈し、廃棄上の注意に従って処分する。			
二次災害の防止策		漏出液は決して元の容器に回収しない。			
7. 取扱い及び保管上の注意					
取扱い					
技術的対策 (局所排気、全体換気等)		屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。 可燃物／酸／有機物／金属類／アルカリ剤等と混合を回避するために予防策をとること。 薬液の飛散、漏えい（洩）等の防止措置をとる。			
安全取扱い注意事項		熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。 衣類及び可燃物から遠ざけること。ミスト／蒸気を吸入しないこと。 適切な呼吸用保護具を着用すること。環境への放出を避けること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 使用前に本安全データシート(SDS)に記載された全ての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。			
衛生対策		配管により取り扱う場合には、薬液を密閉状態としてはならない。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 この製品を使用する前に飲食または喫煙をしない。取扱後はよく手や顔等を洗うこと。			
保管					
安全な保管条件		施設して保管すること。冷所に保管すること。通風の良い場所に保管し、薬液が高温にならないようにする (直射日光を避け、冷暗所に保管することが望ましい)。			
安全な容器包装材料		容器には通気孔付の蓋を使用し(タンクの場合にはベント管を設け)、完全密封の状態にしない。 高密度ポリエチレン、ポリテトラフルオロエチレン等のフッ素樹脂等過酸化水素の分解を促進する材料を使用してはならない。			
8. ばく露防止及び保護措置					
暴露限界値					
日本産業衛生学会－許容濃度		成分	タイプ	数値	
		酢酸 (CAS 64-19-7)	TWA	25 mg/m3	
				10 ppm	
米国、ACGIH作業環境許容濃度(TLV)		成分	タイプ	数値	形状
		過酢酸 (CAS 79-21-0)	STEL	0.4 ppm	吸引性画分および蒸気。
		過酸化水素 (CAS 7722-84-1)	TWA	1 ppm	
		酢酸 (CAS 64-19-7)	STEL	15 ppm	
			TWA	10 ppm	
設備対策		取扱場所の近くに、洗面、洗眼設備等を設ける。その位置を明示する。			
保護具					
呼吸用保護具		簡易保護マスク、必要に応じて酸性ガス用防毒マスク			
手の保護具		保護手袋			
眼、顔面の保護具		保護眼鏡			
皮膚及び身体保護具		長袖の保護衣、安全帽、安全靴等を着用すること。天然皮革製保護具を使用してはならない。			

9. 物理的及び化学的性質				
物理状態	液体			
形状	液体			
色	無色透明			
臭い	特有の刺激臭（酢酸臭）			
融点／凝固点	-28 °C (-18.4 °F)			
爆発下限及び爆発上限／可燃限界				
燃焼又は爆発範囲の下限（％）	知見なし			
燃焼又は爆発範囲の上限（％）	知見なし			
引火点	なし			
自然発火点	なし			
分解温度	知見なし			
pH	2.9 (1% 水溶液)			
動粘性率	知見なし			
溶解度				
溶解度（水）	水に可溶			
蒸気圧	知見なし			
密度及び／又は相対密度				
密度	知見なし			
比重（相対密度）	1.11 (20℃)			
相対ガス密度	知見なし			
粒子特性	知見なし			
その他の情報				
酸化能力	あり			
粘度（粘性率）	0.513 cSt (20℃)			

10. 安定性及び反応性				
反応性	可燃性の物質の燃焼率を著しく増大させる。			
化学的安定性	通常状態で安定。			
危険有害反応可能性	知見なし			
避けるべき条件	知見なし			
混触危険物質	重金属、アルカリ、還元剤等が混入した場合、過酸化水素、及び過酢酸が分解して発熱を伴い酸素ガスを発生するため、密閉容器では破裂することがある。			
危険有害な分解生成物	特になし。			
その他の情報	支燃性：火災の熱により過酢酸、或いは過酸化水素が分解し酸素ガスを発生するため、燃焼を助長する。			

11. 有害性情報				
急性毒性	吸入すると有毒。			
	成分	種	試験結果	
	過酢酸 (CAS 79-21-0)	急性吸入		
		蒸気		
		LC50	マウス	0.262 mg/l
		経口		
		LD50	ラット	1540 mg/kg
		経皮		
		LD50	ウサギ	1410 mg/kg
	過酸化水素 (CAS 7722-84-1)	急性吸入		
		ミスト		
		LC50	マウス	0.46 mg/l, 4 時間 (90%H2O2)
		蒸気		
		LC50	ラット	1438 ppm, 4 時間
		経口		
		LD50	ラット	805 mg/kg (70%H2O2)
		経皮		
		LD50	ウサギ	690 mg/kg (90%H2O2)
	酢酸 (CAS 64-19-7)	急性吸入		
		LC50	マウス	5620 ppm, 1 時間
		経口		
		LD50	ラット	3310 - 3530 mg/kg
		経皮		
		LD50	ウサギ	1060 mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。			
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	重篤な眼の損傷。			
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。			
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれの疑い。			
発がん性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。			
ACGIH発がん性物質	過酢酸 (CAS 79-21-0)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。		
	過酸化水素 (CAS 7722-84-1)	A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)		
IARC発がん性評価モノグラフ	過酸化水素 (CAS 7722-84-1)	3 ヒトへの発がん性を分類できない。		
生殖毒性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。			
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	臓器（血液, 呼吸器系）の障害。			
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝臓, 呼吸器）の障害のおそれ。			
誤えん有害性	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。			

1 2. 環境影響情報				
環境影響データ				
	成分	種	試験結果	
	過酢酸 (CAS 79-21-0)	水生 急性		
	過酸化水素 (CAS 7722-84-1)	水生 急性	甲殻類 オオミジンコ	0.04 mg/l, 48 時間
	酢酸 (CAS 64-19-7)	水生 急性	藻 藻	0.85 mg/l, 72 時間
		水生 急性	甲殻類 オオミジンコ	65 mg/l, 48 時間
生態毒性	水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に有害。			
残留性・分解性	BOD: 74% (酢酸)			
生態蓄積性				
生体内蓄積の可能性				
オクタノール／水分配係数 log Kow	過酢酸	-1.07		
	酢酸	-0.17		
土壤中の移動性	本製品のデータはない。			
オゾン層への有害性	データなし			
他の有害影響	その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。			
1 3. 廃棄上の注意				
残余廃棄物	内容物／容器を廃掃法などの法規制に従って廃棄すること。 排水が排出基準（pH,COD他）に適合していることを確認のうえ廃棄する。 排水処理施設に流入するとトラブルの原因となる事があるので、以下の処理を行う。 ①廃棄前に十分に希釈する。 ②アルカリ剤と混合して、過酸化水素及び過酢酸を中和、分解する。 ③過酸化水素及び過酢酸を亜硫酸ソーダ等の還元剤を添加して分解する。			
汚染容器及び包装	残留物、付着物を洗浄除去後、処分する。洗浄廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。			
1 4. 輸送上の注意				
IATA				
国連番号	3098			
UN正式輸送品目名	その他の酸化性物質（液体）（腐食性のもの）			
輸送危険有害性クラス				
クラス(Class)	5.1			
副次危険性	8			
容器等級	II			
環境に対する有害性	非該当			
ERGコード	5C			
使用者のための特別な予防措置	取り扱いの前に安全指示、SDSおよび応急処置法を読むこと。			
その他の情報				
旅客貨物輸送機	制限付きで許可されている。			
貨物専用航空機に限る	制限付きで許可されている。			
IMDG				
国連番号	3098			
UN正式輸送品目名	その他の酸化性物質（液体）（腐食性のもの）			
輸送危険有害性クラス				
クラス(Class)	5.1			
副次危険性	8			
容器等級	II			
環境に対する有害性				
海洋汚染物質	非該当			
使用者のための特別な予防措置	取り扱いの前に安全指示、SDSおよび応急処置法を読むこと。			
MARPOL73/78 附属書II 及びIBCコードによ 未確定				
るばら積み輸送される液体物質				
IATA;IMDG				
	 			
国内規制	国内輸送については 1 5 項の規制に従うこと。			
応急措置指針番号	140			

1 5 . 適用法令			
労働安全衛生法			
通知対象物	酢酸	別表第9 政令番号 176	
	過酸化水素	別表第9 政令番号 126	
	過酢酸	別表第9 政令番号 125-2	
表示対象物	酢酸		
	過酸化水素		
	過酢酸		
リスクアセスメント対象物質	酢酸		
	過酸化水素		
	過酢酸		
毒物及び劇物取締法			
特定毒物	非該当		
毒物	非該当		
劇物	過酸化水素を含有する製剤		
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律			
第一種特定化学物質	非該当		
第二種特定化学物質	非該当		
監視化学物質	非該当		
優先評価化学物質	過酢酸		
届出不要物質	非該当		
2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法			
特定第一種指定化学物質	非該当		
(物質名、管理番号、含量)			
第一種指定化学物質	過酢酸	管理番号 603	6.0 % (過酢酸)
(物質名、管理番号、含量)			
第二種指定化学物質	非該当		
(物質名、管理番号、含量)			
消防法	非該当		
船舶安全法・危規則	酸化性物質類		
航空法・施行規則	酸化性物質類		
火薬類取締法	非該当		
海洋汚染防止法	過酸化水素溶液	Y類	
	(濃度が八重量パーセントを超え七十重量パーセント以下のものに限る。)		
	酢酸	Z類	
水質汚濁防止法	過酸化水素	指定物質 (政令第3条の3第4号)	
その他の情報	安衛法(労働安全衛生法)	除物(令別表第1) :	
		爆発性の物(過酢酸)、酸化性の物(過酸化水素)、引火性の物(酢酸)	
	安衛則	第593条 眼障害物 : (酢酸)	
		第594条 皮膚障害物 : (過酸化水素、酢酸)	
1 6 . その他の情報			
引用文献	ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices HSDB® - Hazardous Substances Data Bank IARC発がん性評価モノグラフ 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告 JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法 JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens		
記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。			
[注意] 本SDSはJIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。			